

令和6年度 能見台地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

能見台地域ケアプラザの担当圏域は、能見台、金沢東部、金沢中部(2単会)、富岡西・能見台の4地区にまたがっており、それぞれ地域住民主体の取組や特徴的な地域活動が行われている。
 ケアプラザは、各地区の特性やニーズに応じて情報提供や活動支援を行うほか、地域の人材や資源を相互につなぐ役割を担っている。今後も、地域の状況をよく観察し、住民主体の活動の立ち上げや、活動継続に向けた支援に取り組んでいく。また、隣接する地域ケアプラザと情報共有し、連携して地域支援に取り組んでいく。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 個別ケースの課題から出た地域課題である買い物支援について、地域ケア会議(協議体)などを通じて専門職や関係機関、地域住民への周知を図り、課題解決につなげていく。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域が主体となった介護予防・社会参加の場が増えるようリーダーとなる元気づくりマイスターの養成と、活動の後方支援を行っていく。(かなざわ葬斎館での健康セミナー1回/月・友引の日の開催、男性限定体操教室の拡充) |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 誰もが住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、エンディングノート、もしも手帳の他、救急あんしんカード等の普及・啓発に努める。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の集いの場や話し合いの場に積極的に参加し地域の社会資源情報を収集すると共に、活動における課題を把握し、活動の発展・継続に向けて働きかけ、地域支援・個別支援につなげていく。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の方の声に常に耳を傾け5職種間での連携をとり、あらゆる方が参加できる事業を企画実施する。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・買い物支援については、たけみるくまーとの協力の元、金沢中部地区の西柴サンハイツで、月に2回、移動販売を実施することができた。買い物を通じて、地域住民同志の交流の場にもなっており、心配な高齢者についての把握や、介入の機会にもなっている。住民同士の口コミで、高齢者以外の住民にも認識されてきており、今後は若い世代と高齢者のつながりの場としても期待したい。
 ・エンディングノートの普及・啓発として、特におひとりさまのキーパーソンについて考える会を設け、一人ひとりが元気なうちに意思決定について考えることができた。
 ・障害やひきこもりがちな方など、世帯全体としてさまざまな困難を抱える方の課題の一つである家計管理や経済的困窮などについて5職種としてエリアの課題として取り上げ、講座開催を行った。

区からのコメント

地域住民への買い物支援について、周知方法など工夫を重ねて、高齢者だけでなく若い世代の利用者も増やすなど多世代交流の場にしていただいたり、高齢者への見守りをさせていただくなど、単なる買い物支援に留まらない新たな社会資源を創出していただきました。また幼少期や青年期からケアプラザと関わりを持って地域福祉への関心を高めたり、今後の地域における担い手不足の解消ために小中学校へ福祉教育をしていただきました。その他にも、民生委員とのネットワーク連絡会の再開、男性限定ストレッチ&トレーニングや元気づくりステーション能見台スリーAの会などの後方支援、各種連絡会や地域行事への積極的な参加による各地域の状況など様々な情報を収集・共有をし、様々な事業や支援に活用していただきました。今後も引き続き関係機関と連携を強化しながら、地域資源やコミュニティを活かした地域支援を進めていただければと思います。